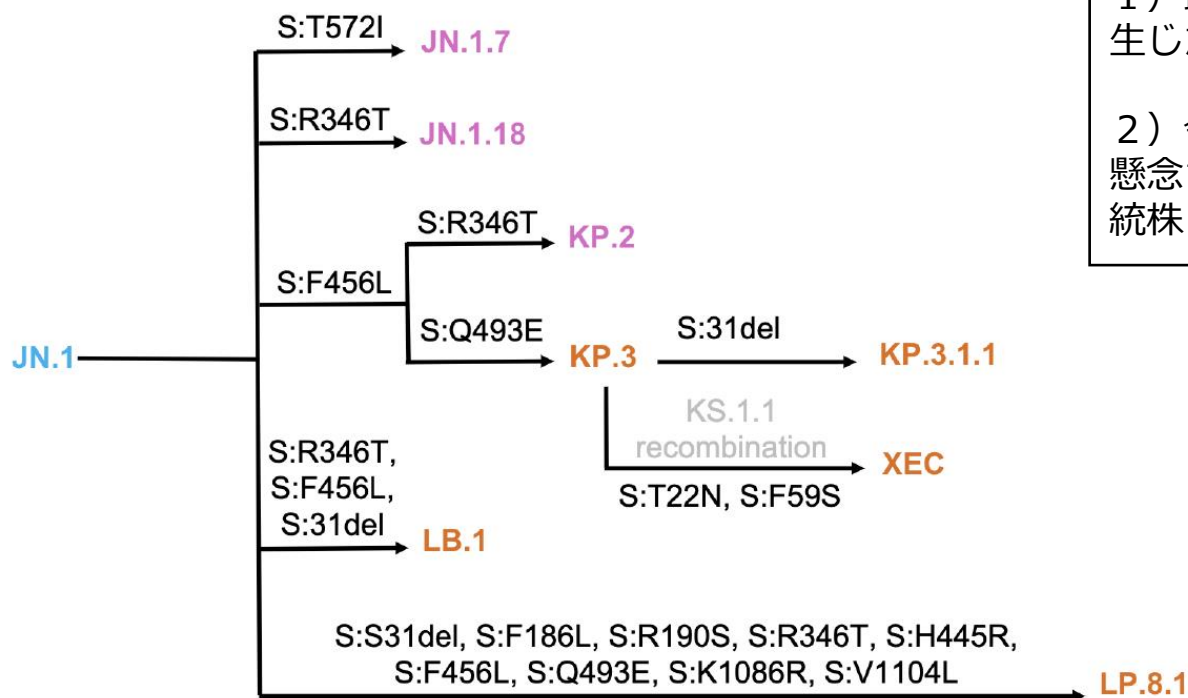


最近の新型コロナウイルス変異株の変異部位と系統樹

第3回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会
研究開発及び生産・流通部会
季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの製造株について検討する小委員会

資料
3

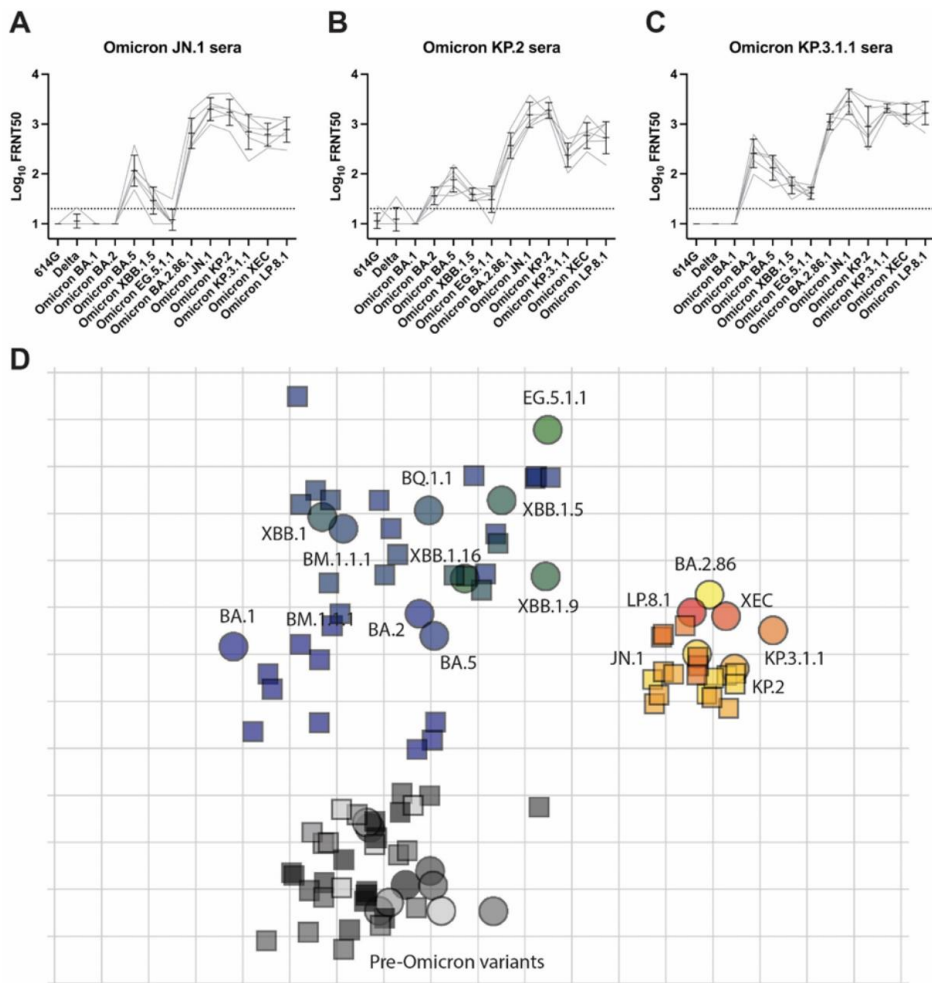
2025（令和7）年5月28日



1) 最近の懸念される変異株と監視下の変異株に生じたスパイク蛋白質の変異部位

2) 令和7年5月7日時点でWHOに登録されている懸念される変異株と監視下の変異株は全てJN.1系統株となっている。

ハムスター抗血清を用いた抗原地図による抗原性評価



・ハムスターにJN.1、KP.2、KP.3.1.1株を感染させ、得られた抗血清の様々なウイルス株に対する中和抗体価が示されている (A-C)。

・得られた中和抗体データをもとに抗原地図 (Antigenic Cartography) が作成された (D)。

・変異株間の距離が、変異株間の抗原性変化の大小として示されている。

・JN.1系統の変異株 (JN.1、KP.2、KP.3.1.1、XEC、LP.8.1)では、他の系統の変異株に比べて抗原性が相対的に近接している。

ワクチン接種者抗血清を用いた抗原性評価

- ・ JN.1ワクチン接種者の抗血清を用い、JN.1系統株に対する中和試験が行われた。
- ・ JN.1ワクチン接種後に、様々なJN.1系統株（KP.3.1.1、XEC、LF.7.2.1、LP.8.1）に対する中和抗体価の上昇が確認された。

